

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラムⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生			
講師名	対馬友理	講師 プロフィール	札幌市内央谷まで勤務後、フリーランスヘアメイクとして活動。 広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。							
【授業を通じての到達目標】										
苦手な部分を見直し克服していく。グループワークにて生徒同士で教え合えるようにし教えるということも学ぶ。 技術者としてトレンドに敏感になり、どうして良いのか自分なりの見解を待てるようにする。										
【学習内容】										
グループワークにて苦手な部分得意な人が教える。今までの苦手分野を少しでも克服して卒業できるようにする。										
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ヘアメイク道具										
日時	授業計画				日時	授業計画				
	【到達目標】					【到達目標】				
① (9 / 29)	自分のメイク技術における苦手得意を考える。チームをきめ、グループワーク。(筆記)				⑤ (12 / 1)	②ヘアフォローアップ(ヘア道具、ウィッグ、クランプ持参)				
② (10 / 6)	①メイクフォローアップ(メイク道具持参)				⑩ (12 / 8)	②ヘアフォローアップ(ヘア道具、ウィッグ、クランプ持参)				
③ (10 / 13)	①メイクフォローアップ(メイク道具持参)				⑪ (12 / 15)	①コスメ提案、トレンド調査。(メイク道具持参)				
④ (10 / 20)	②メイクフォローアップ(メイク道具持参)				⑫ (12 / 22)	①コスメ提案、トレンド調査。(メイク道具持参)				
⑤ (10 / 27)	②メイクフォローアップ(メイク道具持参)				⑬ (1 / 2)	②コスメ提案、トレンド調査。(メイク道具持参)				
⑥ (11 / 10)	課題：自分のヘア技術における苦手得意を考える。チームをきめ、グループワーク。(⑭ (1 / 9)	②コスメ提案、トレンド調査。(メイク道具持参)				
⑦ (11 / 17)	①ヘアフォローアップ(ヘア道具、ウィッグ、クランプ持参)				⑮ (1 / 26)	トレンドヘアメイク セルフ (ヘアメイク道具持参)				
⑧ (11 / 24)	①ヘアフォローアップ(ヘア道具、ウィッグ、クランプ持参)				【成績評価の方法と基準】					
						●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】										

講義シラバス

科目名	スタイルブック作成	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生			
講師名	對馬友理	講師 プロフィール	札幌市内央谷室で勤務後、フリーランスヘアメイクとして活動。 広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。							
【授業を通じての到達目標】										
ヘアメイク、トータルコーディネートをプロデュースし、スタイルブックを作成する。 撮影の際のヘアメイクトーンや撮影ワークを学ぶ。										
【学習内容】										
撮影、仕上がりを考えそれに向かってプランニング、トレーニングできるようになる。 チームでの作品づくりをしながら、個性、協調性を出せるようにする。										
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (9 / 27)	【到達目標】 スタイルブックのコンセプト、構成を考える。グループ決め。(筆記用具)				⑨ (11 / 29)	【到達目標】 撮影③(ヘアメイク道具一式)カメラマン、講師2名体制				
② (10 / 4)	【到達目標】 ページごとの担当と、ヘアメイクデザインを考える。(筆記用具)				⑩ (12 / 6)	【到達目標】 撮影④の練習(ヘアメイク道具一式)				
③ (10 / 18)	【到達目標】 撮影①の練習(ヘアメイク道具一式)				⑪ (12 / 13)	【到達目標】 撮影④(ヘアメイク道具一式)カメラマン、講師2名体制				
④ (10 / 25)	【到達目標】 撮影①(ヘアメイク道具一式)カメラマン、講師2名体制 カメラマン全4回千歳さんにするか？予算確認				⑫ (12 / 20)	【到達目標】 写真選定、テキストを考える。(筆記用具)				
⑤ (11 / 1)	【到達目標】 撮影②の練習(ヘアメイク道具一式)				⑬ (1 / 10)	【到達目標】 最終チェック(入稿)(筆記用具)				
⑥ (11 / 8)	【到達目標】 課題:スタイルブックのタイトルを考える				⑭ (1 / 17)	【到達目標】 卒業制作づくり、コンセプト、練習(筆記用具、ヘアメイク道具一式)				
⑦ (11 / 15)	【到達目標】 撮影②(ヘアメイク道具一式)カメラマン、講師2名体制				⑮ (1 / 24)	【定期試験】50 卒業制作撮影(ヘアメイク道具一式)カメラマン前田くん				
⑧ (11 / 22)	【到達目標】 撮影③の練習(ヘアメイク道具一式)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										

講義シラバス

科目名	クリエイティブヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	宍戸 神	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクを始め、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションのもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						

様々なテイストのヘアメイク作品を作成、撮影し、想像力と発想力を磨く事ができるようになる。

【学習内容】

様々なテイストのヘアメイク作品を作成、撮影し、作品数を増やしていく事ができる。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具 必要な小物類

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/26)	【到達目標】授業の意味を理解してもらう 小テスト2点 授業内容の説明 科目の必要性を理解する ルール、シラバス説明、デモ。	⑨ (11/21)	【到達目標】 小テスト3点 絵画をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。
② (10/3)	【到達目標】 小テスト2点 広告撮影を想定し、コラージュを作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。	⑩ (11/28)	【到達目標】 小テスト3点 レトロ・ヴィンテージ・アンティーク調をイメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。
③ (10/10)	【到達目標】 小テスト3点 広告撮影を想定したヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。	⑪ (12/5)	【到達目標】 小テスト3点 レトロ・ヴィンテージ・アンティーク調をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ 撮影する事ができる。
④ (10/17)	【到達目標】 小テスト3点 広告撮影を想定し、コラージュを作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。 (別テスト)	⑫ (12/12)	【到達目標】 小テスト3点 各自、自由にテーマを設定し コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。
⑤ (10/24)	【到達目標】 小テスト3点 広告撮影を想定したヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。 (別テスト)	⑬ (12/19)	【到達目標】 小テスト3点 テーマに沿ったヘアメイク作品を相モデルで完成させ、撮影する事ができる。
⑥ (10/31)	【到達目標】 小テスト3点 花をイメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。	⑭ (1/16)	【到達目標】 小テスト3点 各自、自由にテーマを設定し コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。(別テスト)
⑦ (11/7)	【到達目標】 小テスト3点 花をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。	⑮ (1/23)	【定期試験】50 テーマに沿ったヘアメイク作品を相モデルで完成させ、撮影する事ができる。 (別テスト)
⑧ (11/14)	【到達目標】 小テスト3点 絵画イメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	スキルアップメイクⅡ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生			
講師名	鶴岡瑛子	講師 プロフィール	都内専門学校卒業後、フリーランスの特殊造型・特殊メイクスタッフとしてMVやCM、映画などに携わる。2017年より札幌ベルエポック美容専門学校にて特殊メイク実習に関わる。							

【授業を通じての到達目標】

特殊メイクの基本を通して、ビューティメイクへの応用力を身につけ、表現の幅を広げる。

【学習内容】

特殊メイク用品や道具の使い方を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式、筆記用具、特殊メイク用品など

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/28)	オリエンテーション	⑨ (11/30)	動物メイク
② (10/5)	ペイントによる傷メイク	⑩ (12/7)	型取り+シリコン型取り
③ (10/12)	シリコンパテによる傷メイク	⑪ (12/14)	型取り(レジン複製+塗装)
④ (10/19)	ブロスエイドを使ったメイク	⑫ (12/21)	型取り(塗装)
⑤ (10/26)	ゾンビメイク	⑬ (1/11)	シリコンパテによる傷メイク(切断)
⑥ (11/2)	老齢メイク	⑭ (1/18)	定期試験準備
⑦ (11/9)	オンライン課題 ペイントによる傷メイク(ロキ)	⑮ (1/25)	定期試験
⑧ (11/16)	授業参観 シリコンパテによる傷メイク(パーツを加えたメイク)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

講義シラバス

科目名	ブライダルコーディネーター	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	ヘアメイク科	コース	ブライダル専攻			学年	0002年			
講師名	川崎みゆき	講師 プロフィール	ウェディングプランナー歴15年以上のキャリアを持ち、海外での経験から欧米ウェディングの知識も豊富。約10年以上ほど前からブライダルの講師も務める。							

【授業を通じての到達目標】

ブライダルの概要を理解し、幸せな花嫁を作り上げる要素をヘアメイク以外の観点から学ぶことで、幅広い角度のウェディングスタイルを学習する。またアンソニエトブライダルコーディネーター認定試験合格、およびプロとして必要なブライダルに関する知識を取得・理解する。

【学習内容】

教科書に添いながら、動画や写真などを交えてブライダルの基礎を学ぶ。又過去問題を解きながら検定の傾向と対策を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

ブライダルコーディネーター スタンダード

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/26)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう お見合い、婚約、結納について学ぶ。昔とはスタイルを変えつつも出合いの場であるお見合いや婚約という意味を知る。又日本の伝統的な婚約スタイルの結納を知る。	⑨ (11/21)	【到達目標】 ①コーディネーター業務について学ぶ。接客やペーパーワーク、プランニング、プレゼンテーションなど基本的な業務について理解する。
② (10/3)	【到達目標】 <小物制作> 水引き 引出物や祝儀袋などに使われる水引を実際に触れて、製作する。お祝いを贈る際のマナーなどを知る。	⑩ (11/28)	【到達目標】 <コラージュ制作> テーマを設けてそれに合わせた会場演出、装飾を考える。※前週の見学がコロナで密を避ける場合は、2週に分かれて2週に分けて見学
③ (10/10)	【到達目標】 ①ブライダルアイテムについて学ぶ。ブーケやペーパーアイテム、料飲、音楽、記念アイテムなど結婚式に欠かせないアイテムについて学ぶ。	⑪ (12/5)	【到達目標】 <見学授業> フォトスタジオ見学 ウェディングを主体にしているフォトスタジオを訪れお話を伺う。自分の目で見て、空間を体験することで、よりウェディングへの理解を深める。 ※コロナで密を避ける場合は、2週に分かれて2週に分けて見学
④ (10/17)	【到達目標】 <業界の方を招いて> フラワーアーティスト 結婚式には欠かせない、お花の世界の話を伺いながら簡単なアイテムの制作をする。	⑫ (12/12)	【到達目標】 テストに向けて授業まとめ 今まで学習してきたことの復習や補う箇所があればその学習を行う。
⑤ (10/24)	【到達目標】 ②コーディネーター業務について学ぶ。接客やペーパーワーク、プランニング、プレゼンテーションなど基本的な業務について理解する。	⑬ (12/19)	【到達目標】 テストに向けて授業まとめ 今まで学習してきたことの復習や補う箇所があればその学習を行う。
⑥ (10/31)	【到達目標】 <業界の方を招いて> カメラマン お仕事のお話を伺う。写真撮影の立ち振る舞いや撮影方法、人気なロケーションや体験などを聞き、現場の様子を知る。	⑭ (1/16)	【到達目標】 テストに向けて授業まとめ 今まで学習してきたことの復習や補う箇所があればその学習を行う。
⑦ (11/7)	【到達目標】 <業界の方を招いて> ブライダルヘアメイク ブライダルで主に活躍しているフリーのヘアメイクさんからお話を伺う。お支度はもちろん、撮影やアテンドの際の注意点や体験などを聞き、現場の様子を知る。	⑮ (1/23)	【定期試験】60 定期試験
⑧ (11/14)	【到達目標】 ①コーディネーター業務について学ぶ。接客やペーパーワーク、プランニング、プレゼンテーションなど基本的な業務について理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト80点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	エンターテインメンⅡ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生		
講師名	小川 智加	講師 プロフィール	新卒で大手SPAアパレル企業に入職し、その後外資系アパレル会社のラグジュアリーブランドで販売、MD、VMDの職歴を積む。札幌ベルエポックでは業界経験を活かし、業界コラボをはじめヘアメイク・ファッション・エンターテインメント業界を中心に携わる。						

【授業を通じての到達目標】

業界と一体となって自ら楽しみ人を楽しませるステージを作りあげるために、授業やアシスタントプログラムで培ったヘア・メイク・ファッションの提案や技術を活かす。ファッションに関わる衣装、洋服が出来上がるための過程を学んでイベントに関わる動きや気遣い、挨拶ができるようになる。

【学習内容】

業界アイドルグループの衣装デザイン、衣装製作をする
 衣装の制作を通じて生地の特徴や素材感を知る
 イベントの動きや役割を理解して企画を作り上げる楽しさを体感して就職に活かす

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/26)	前期の内容の振り返り	⑨ (11/21)	業界コラボ④ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
② (10/3)	業界とイベント企画立案するための情報収集を行う① 意見交換をしてイベントの目的を考えることができる	⑩ (11/28)	業界コラボ⑤ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
③ (10/10)	オンライン・課題 業界とイベント企画立案するための情報収集を行う② 意見交換をしてイベントの目的を考えることができる	⑪ (12/5)	業界コラボ⑥ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
④ (10/17)	業界と意見交換して具体的なイベント内容を定める 業界の方にプレゼンテーションができる	⑫ (12/12)	業界コラボ⑦ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
⑤ (10/24)	イベント内容を企画書にしてスケジュールや内容を考えて作成することができる	⑬ (12/19)	業界コラボ⑧ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
⑥ (10/31)	業界コラボ① イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる	⑭ (1/16)	業界コラボ⑨ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる
⑦ (11/7)	業界コラボ② イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる	⑮ (1/23)	業界コラボの現場を通じて業界から評価をいただく 挨拶、行動力、対応力、業界が求めることが的確にできるようになる
⑧ (11/14)	業界コラボ③ イベントの主旨を元に自ら進んで行動ができるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	小川 智加	講師 プロフィール	新卒で大手SPAアパレル企業に入職し、その後外資系アパレル会社のラグジュアリーブランドで販売、MD、VMDの職歴を積む。札幌ベルエポックでは業界経験を活かし、業界コラボをはじめヘアメイク・ファッション・エンターテインメント業界を中心に携わる。						

【授業を通じての到達目標】

1年後の自分のなりたいビジョンを明確にし、目標に向かって自ら考え行動することで就職内定に繋げることができる。社会人の仕組みやマナーを理解し、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力、対応力を身につける。

【学習内容】

目標設定を明確にして自ら考え、行動できる人材になるためのスキルやプレゼンテーション力、コミュニケーション力を身につける。業界で活躍するために必要な社会人基礎力を身につけて実践できる人材を目指す。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

筆記用具・ノート・プリントなど(各単元ごとに担任が準備する)

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/28)	<ul style="list-style-type: none"> -3Sの振り返りを行い、掲げた目標に対しての現状を再確認することができる -目標の振り返りから今後のアクションプランを考え相み立てることができる ※ディスカッション、学園祭に向けた準備① 	⑨ (12/7)	<ul style="list-style-type: none"> -社会人として必要な基礎力を学び、自己の能力を伸ばし実践できるようになる ※前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)
② (10/5)	<ul style="list-style-type: none"> -3Sの振り返りを基に個人目標、クラス目標設定をして明確なキャリアビジョンを描くことができる -自発的にプレゼンテーションすることができる ※ディスカッション、学園祭に向けた準備② 	⑩ (12/14)	<ul style="list-style-type: none"> -社会人に必要な時間管理について理解し時間を有効に使えるようになる ※ディスカッション、仕事の優先順位や効率について
③ (10/12)	<ul style="list-style-type: none"> -クラス目標に対しての達成度を確認し、残りの生活における行動を組み立てることができる ※学園祭振り返り 	⑪ (12/21)	<ul style="list-style-type: none"> -社会におけるお金の仕組みについて理解することができるようになる② 給与/賞与/保険/貯蓄の必要性/家計のやりくり/資産形成
④ (10/19)	<ul style="list-style-type: none"> -『利他の心』についてチームで考え理解し、行動に移すことができる -相手を喜ばせるには？を考え形にすることができる 	⑫ (1/11)	<ul style="list-style-type: none"> -『思いやりの心』について理解し行動できるようになる ※ディスカッション、褒めあう、ことばの花束準備
⑤ (10/26)	<ul style="list-style-type: none"> -『利他の心』についてチームで考え理解し、行動に移すことができる -相手を喜ばせるには？を考え形にすることができる 	⑬ (1/18)	<ul style="list-style-type: none"> -これまでの振り返りを行い、冬休み・冬休み後の行動目標を明確にしタイムマネジメントができるようになる ※ディスカッション、ことばの花束
⑥ (11/2)	<ul style="list-style-type: none"> -将来のビジョンを明確にして、目指す職種ごとに分かれて課題解決に向けた力を身につけることができる 	⑭ (1/25)	<ul style="list-style-type: none"> -2年間を振り返り、学校生活で身につけた力を卒業後、どのように活かすかイメージすることができる -通信課程の学生は国家試験合格に向けてのイメージと心構えを持つことができるようになる
⑦ (11/16)	<ul style="list-style-type: none"> -将来のビジョンを考え、卒業後の目標設定をつくり働くことのイメージができるようになる ※目標設定(卒業ビジョン) 	⑮ (2/1)	<ul style="list-style-type: none"> -4Sで身につけた知識の確認 -社会人基礎力について理解しているか -社会人としての心構えと、社会人としてどうあるべきかの考えをもつことができているか ※社会人基礎力、目標設定プレゼンテーション
⑧ (11/23)	<ul style="list-style-type: none"> -チームで働く力、自分の意見をわかりやすく伝える力を身につけることができるようになる ※プレゼンテーション力をつける 	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			